27 01 12 01 01 001

事務事業評価表

1．基本事項

作成日　令和02年07月02日(木)

事務事業	予算編成・統制事務	担当課	財政課	担当係	財政係	管理番号	2714
第２次総合計画		事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務 →	対象拡大 有□ サービス拡充 有□		
行政分野別 計画施策名 大項目	200006 みんなで創る協働のまち（協働・行政経営）	根拠法令個別計画等					
中項目	200002 将来に向けた持続可能なまちづくり						
小項目	200003 行財政運営の推進						

事業概要	計画的かつ効率的な財政運営を行うため、予算の編成および配当を行い管理することにより、市財政の適正な執行体制につなげるものである。（なお、本事業を構成する予算編成事務費は、平成２９年度以降財政管理事務を構成する行財政管理事務費に統合した。）
目的 ※何のために	計画的かつ効率的な財政運営を行うため
対象 ※誰・何を対象に	予算
手段 ※どのように	予算編成および予算配当を行い管理する。
成果 ※何を求めるか	市財政の適正な執行体制につなげる。
執行体制	■ 市職員　□ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　□ 市民ボランティア　□ ＮＰＯ 民間団体　□ その他（　　）

事務事業を構成する予算事業	会計区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
	一般会計	12	予備費	01	予備費	01	予備費	予備費	0
		00		00		00			0
		00		00		00			0
		00		00		00			0
		00		00		00			0

本事業の主な業務	
・ 当初予算編成	・
・ 補正予算編成	・
・ 予算執行管理（流用・配当替など）	・
・ 全庁的な使用料・手数料の管理・統制	・
・ 全庁的な補助金の管理・統制	・
・	・

2．事業費（投入コスト）

単位：円

区分			平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	
年度別計画			予算編成	予算編成	予算編成	予算編成	予算編成	
				使用料・手数料の見直し				
				補助金の見直し	補助金の見直し	補助金の見直し	補助金の見直し	
事業費	予算（現額）		20,577,000	16,460,000	20,923,000	70,000,000	70,000,000	
	決算額		0	0	0	0	0	
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		他特定財源	0	0	0	0	0	
		一般財源	0	0	0	70,000,000	70,000,000	
人件費	従事職員数(人)		1.49	1.49	1.54	1.56	1.56	
	人件費相当試算 ※１		11,590,710	11,595,180	12,105,940	12,710,880	12,710,880	
			0	0	0	0	0	
（総事業費試算）			11,590,710	11,595,180	12,105,940	82,710,880	82,710,880	

※１　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

３．評価指標

グラフ表示	区分	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標なし
		年度別目標値の設定根拠									
		実績値の出所・算出式									
□	活動指標１	当初歳入歳出予算額	目標値	百万円							■
			実績値		45,952.49	51,610.85	53,905.70	51,672.05	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		当初予算は、その時の社会経済情勢等に適切に対応する必要があり予め目標値を設定せず							
		当初歳入歳出予算額									
□	成果指標１	実質赤字比率	目標値	%	11.25	11.25	11.25	11.25	11.25	11.25	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		目標値には早期健全化基準のうち一番低い数値を表示し、この数字未満とする							
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									

４．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　－：目標値の設定がないもの）

活動 （意図した活動を行っているか）	A	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 総合計画推進ヒアリングに基づく、市長指示事項等を踏まえた予算要求を実施し、行政評価と予算編成の連携強化を図った。また、施策別枠配分方式による予算編成は６回目を迎え、予め定めた予算規模に基づき、効率的・効果的な予算編成を実施した。
成果 （意図した成果が上がっているか）	A	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 成果指標は財政健全化法に基づく「実質赤字比率」を設定した。本指標は市の標準的な一般財源の規模を表す「標準財政規模」に対する一般会計等の実質赤字額の割合である。赤字は生じておらず良好な水準を維持している。
効率性 （効率的に事務を行っているか）		目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明

評価者	財政課　財政係長　堀口浩正

５．前年度改善改革プラン達成状況

前年度 改善・改革案	次期財務会計システムについては、予算－執行－評価－改善というＰＤＣＡサイクルの連携強化と第２次総合計画の進行管理を着実に行い、より効率的・効果的な予算編成に努める必要がある。このため、第２次総合計画の進行管理をふまえた中長期的な視点からの予算編成を行うため、複数年予算編成の導入に向けた取組を進めていく。
達成状況 及び その効果	新財務会計システムの導入に向け、新システム導入事業者と関係各課によるワーキンググループを実施し、必要な機能の確認及びデータ移行等を実施してきた。これにより、今後複数年予算編成の導入を見据えた環境が整備された。

事務事業評価表

６．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	予算編成・統制事務	担当課	財政課	担当係	財政係	管理番号	2714

□ ① 現状のまま継続
■ ② 見直して継続 →
□ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
□ ④ 目的達成による終了
□ ⑤ 廃止を検討

- □ 委託化等の検討
- ■ 成果向上のための改善
- □ 効率化のための改善
- □ 事業規模の縮小
- □ 他の事務事業と統合

評価の内容説明

従来の施策別枠配分は、経常的な固定経費のみを対象とした前年予算比での一律圧縮率による配分であり、事業自体の必要性や施策・事業の達成度・評価は考慮していないため、効果的な資源配分の面からは効果が限定的となっている。
今後は、施策や事業の状況に応じた事業展開に基づく効果的な資源配分を一層推進するため、総合計画推進ヒアリングなどを通じ、計画と予算の連携強化を図っていく。

評価者	財政課長　村尾厚彦

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

７．改善改革プランと今後の課題

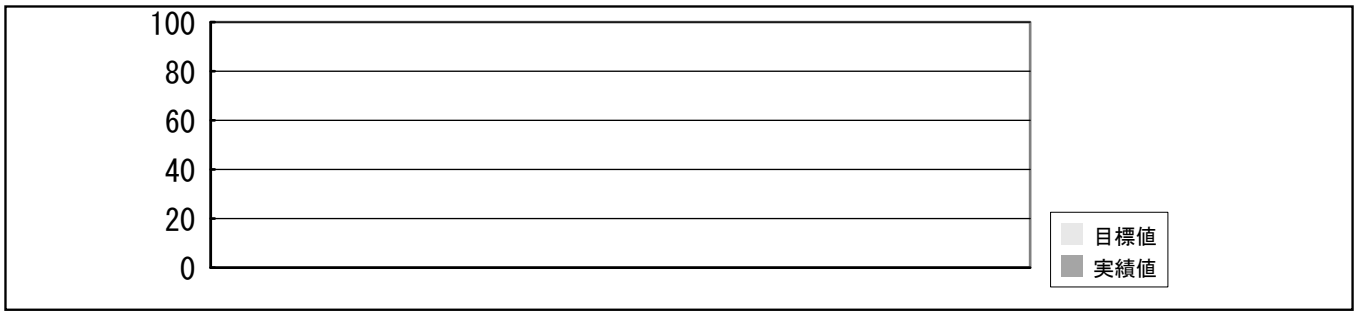
改善・改革案	概算要求基準に基づき、臨時的経費も含めた予算全体に対して、行政評価結果を踏まえた予算要求を実施する。また、予算関係調書の一元化により、「変動事業調書」を廃止し、まちづくりアンケート結果や総合計画の指標管理に重点を置く制度へと編成作業を変更する。

８．今後の課題（年度別計画等により実施する取り組み等）

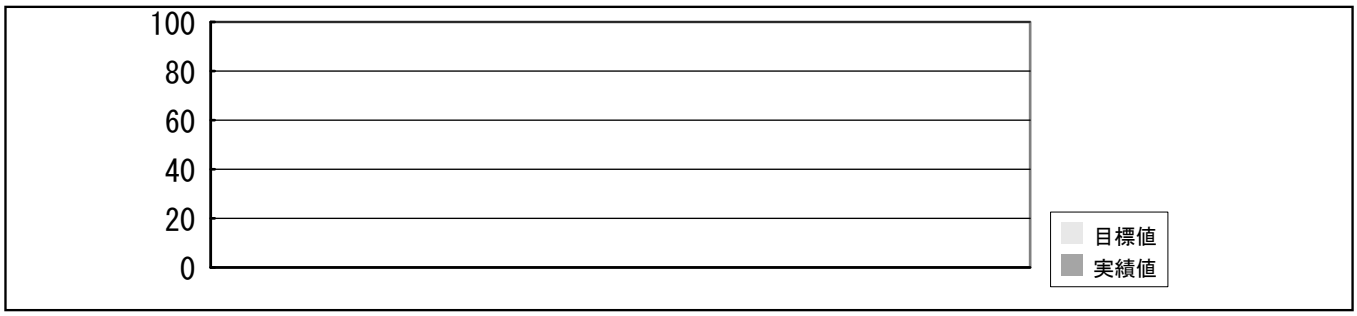
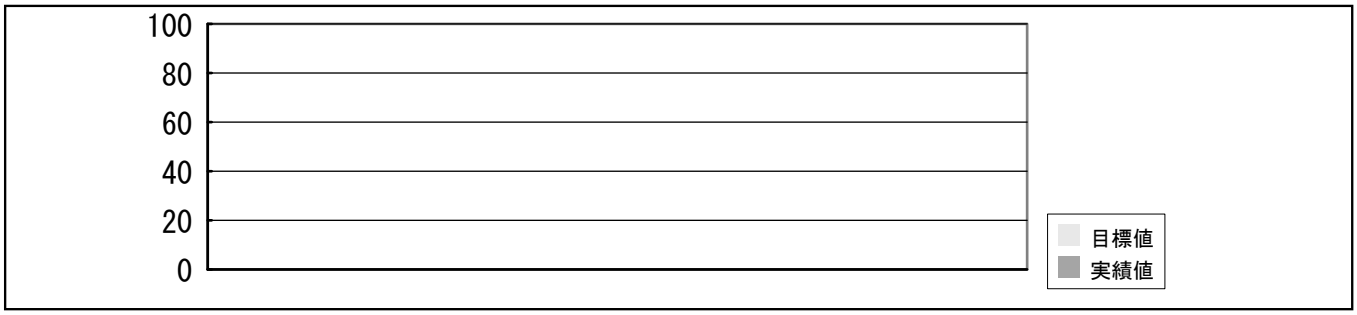
今後の課題	総合計画推進ヒアリングにより、行政評価に基づいた各施策、事業の成果や方向性を確認し、予算に適切に反映する仕組みを構築する必要がある。また、各課の予算要求額と財政見通しに基づく財政フレームとの乖離を、事業の見直しを図ることで縮減し、適正な財政規模を維持していくことが今後の課題である。

９．評価指標グラフ

区分		指標名	



区分		指標名	



区分		指標名